

東京女子大学学術調査フィールドノオト 1983年

月日	場所、収集番号	メモ内容
83-9-3	Bangkok, Thailand	バンコックは女性の町だ。国花の蘭は女性以外を象徴しない。この暑い中で
83-9-4	Bangkok, Thailand	タイ人が勤勉でないとは少しも思えない。心はやさしいのだと思う。 悪い町ではない。 事前学習 ソバ：common buckwheat ” bharesa” ギーで焼くパン→chillare。ヒマチャールでは” ogla” または” haphara”、祭りの食べ物” halluva”。 wheatやBarleyと混ぜてchappatiesも作る。tartary buckwheat ” kathu” 苦いので湯に入れてそれを除く。Chillareを作る。 米のようにもcookする。酒→pechumi（ベンガル、シッキム）、” trumba” カシミール名。野菜としての利用、蜂蜜の花、30日くらい。 rutinなどの化合物。 アマンサスamaranthus：” ganhar” カシミール名。薄いチャパティを作る。水・ミルクを入れて食べる。ポップコーンにする（” nana” ネパール名）。 ミルクか水で粉をゆでる（煮る）。米と茹でることもある。Gruel→” phambra” 同じものを示す。 ケノポディウム： C. album ” bathu” ヒマラヤ名。Phambraを作る。” khichiri” ダルのようなものか？
83-9-5	Delhi, India	
83-9-6	Delhi	
83-9-7	Delhi	Delhiから自動車ですら外に出る。この村は100から200戸、大半が自作農。Jatブラーマンは大土地を持っている。
	Meelat, Uttar Pradesh	平均100エーカー、最大500エーカー。Harijanは1から5エーカー。
	(Meerut地区02005)	Dr. Prasadの協力による、Meerat村の調査。農機具はバイシャ階級（大工、鍛冶屋）が作る。 耕作：機械トラクターは大地主、牛、水牛 二期作地帯： 雨季karif作物；主にrice、他に豆類black gram Vigna mangu, green gram V. radiata。pigeon pea(Cajanus cajan) Vegetables: オクラHybiscus esculentas(lady’s finger), Aboelmoschu essulatus, bitter gourd Momordica charoutia 苦い果実を利用 サトイモの仲間Alocasia, Colocasia. pearlmilletは作っているが、インドビエやシコクビエはない

maize(makai,makka)も作っている, peanut, sesamゴマ

乾季 : rabi ; 主にwheat、sugarcane

miner cropとして、*Pisum sativum* (sweet bean), chick pea, oil crop; 1 *Brassica juncea*, 2 flux アマ, 3 *Brassica canpestris*.

Vegetables; potato, tomato, onion, radish, couriflower, cabagge, Tunip *Brassica napus*, carrot, pompkin
C. pepo & *C. maxima*

中間期 (4, 5, 6月) zaed season : onion, cucurbita, carrot

売る作物 : rice, sugarcane換金、wheatはあまり売れないが一部は売る。Salling crop/cash crop→工場へ、barlyはあまり作っていない。

高地で作る。Vegetablesは高く売れる。

図 : vegetables & fruits (マンゴ) near houses or roadsides. Nain crops (up/low) in fields

図2 : 天水田はbandry (levee) を作り水を溜める。Uplandはバンドを作らない。稲の間にマングビーンを間作する。

うるち米のみ、upland riceはあまりない。Floating riceはこの辺にはない。除草は手または機械で。防除は薬をまく。

肥料はN尿素、Pを多く使う。播種前に与える。有機肥料を多くやる、家畜の糞も与える。

Dr.Ganesh Prasadによるインド農村暮らし解説 joint family家系図や家の見取り図あり。Delhiの家のみ取り図もあり。

3世帯、10~15人が住む。祖父母の下に、兄弟世帯夫婦・子どもたち。Prasadの事例では、彼大学教員・妻・子ども5人。

弟小学校教員、末弟農業。長男の妻が1人分の食事を作る。次男の妻は時々作り、この時、長男の妻は別の仕事をする。

主婦権は長男の妻にある。給料は祖母に渡す。食事はベランダ、table、カーペットの上で食べる。

家の中にgodは置いていないが、ブラーマンの家にはgodの部屋がある。

食事形態: 1) **breakfast;** 彼は8-9am 弟farmer 6-7am in field外で食べる. 1 Bread (chapatii), 2 boiled vegetables辛いもの,

3 rosted grain (porched grain); rice,maize,chickpea (1or 3), 4 milk, youglte, 5 tea or water

eggは朝食に時々

2) lunch 1時; 1 chapathii and rice, 2 dule (mongbean/urđ bean), 3 vegetables, 4 youglť 飲み物はない。fatherは米なし、

chapathiiのみ。

3) diner 8-9時: 1 chapathii and rice, 2 dule, 3 butter, 4 milk(夜飲むことが多い、水牛か牛、harijanはヤギmilk)

水は共同井戸(ハンドポンプ、歯車、モーター)、50個に対して10ほど井戸がある。手で50mほど運ぶ。

遠いところでは500m、壺を頭の上に乗せて運ぶ。

ミーレト村の燃料事情: 1 wood、2 coal(石炭)、3 ケロシン・ストーブ。図あり。Woodは枝を近くから取ってくるが、環境保全の問題に

なっている。ケロシンより木のほうが便利だから。ガスは町のみ。

村の共同作業はあまりない。たとえば道の補修も井戸掘りも。田植えはharijanを雇う。農協cooperative societyは共済、肥料など、

種子、家畜の売買などもおこなう。

灌漑に対してtaxをgovernmentに直接支払う。Erect選挙は5年毎。Partyは教育、納税

tabacco: cigalet、billyは葉を巻いたもの。25本で50pisa。力車夫が吸う、強い。Cigerはない。60%は喫煙している。

Aは13歳で9歳の妻と形式的に結婚。彼が22歳、彼女が18歳で入籍し、家に入った。長男12歳、息子2、娘2、計5人。

多くの人は10人ほどの子どもを持っている。Family planは政府が進めている。嫁は持参金を持つて来る。

彼の友人は息子1、娘9人。彼の場合は妻が5人生んだ後、手術して生まなくした。金持ちの持参金は1から2万Rs. M. Dr とかengineer

など高学歴者には高い。Rich manの場合、家畜や家も持参することもある。

83-9-8 Dasana, Noorpur
and Chitaura,
Uttar Pradesh

Dasana村; 人口40,000、戸数3,000。うち、イスラム教徒300(10%) 戸農家。最も多い農家の土地が50エーカー、

少なくて2エーカー。非雇用者はデリーに行き、サービス、ビジネス、紡績工場に勤める。Cloth shop カーペット。

村の面積、5,000エーカー、宅地1,000エーカー、耕地3,000、工場など1,000エーカー。

この村の位置はガンジーdistrict、NE40km from Delhi。主なインフォーマントはUsman Ali。

joint familyは平均10人、多くて20から25人。

米は苗床を作ってMayの終わりからJulyに移植する。1 maize(**maki**)はJuneからAugustにまく。Octoberに収穫。エーカーあたり0.8 t。

riceは10月に収穫。エーカーあたり、0.6－0.7 t。 *Sorghum* (**juara**)はjuneに播き、julyからAugustに収穫。Chiliは4から6月に播き、

何度も収穫する。Pearl milletはこの村では栽培していない。草は堆肥、有機肥料になる。除草はスプレーで行なう。

家畜はbuffaloとcaw3,000頭、他にgoat 300頭、ロバ、ブタ、ラクダ、ゾウもいた。

maizeは粉にして、厚いチャパティにする。バターをつける。綿畑は赤、白、ピンク、黄色花の変異が高い。ゴマとジュートを混・間作している。

sorghumは切断して、牛のえさにする。Sugarcane. ヒンズーはヤギを、ムスリムは水牛を食べる。

Noorpur村： NE50kn from Delhi、Gaezabadの北10.5km。 インフォーマント農家ブラーミンShyam Lal Sharma

1,000戸、人口;選挙民6,000、子ども3,000、合計9,000人。1戸当たり5から20人が住む。Joint familyである

農地を所有しない。1 brahmin 50戸、2 harijan 110戸、3 bhanghi 80戸掃除夫、4 jat 400戸農夫、5 shepherd 100戸ヤギ・羊を飼う、

6 weavers 20戸ジュータンを織る人、7 barbees 10戸、8 pot makers 20戸、9 muslimus 40戸

上記のうち、ブラーミンは1、アンタッチャブルは2,3、バイシャは5,5,7,8、スードラは6

全面積3,000エーカー、cultivated landは2,000エーカー、多くはjatが所有。農地所有は2から40エーカーで、平均10エーカー。

トラクター16台、家畜6頭／戸。

Chitaura村： Noorpur村の10.5km北で、おそらくこの村からの分れた村。インフォーマントはJatan Bir父とMukesh息子、Jat農夫

150 families、1,000人＋子ども500人＝1,500人。All jatの村ですべて農民。所有地は8から30エーカー。家族5から15人。

全面積は1,500、内、農地は1,000エーカー。家畜、caw,buffalo,goat。トラクター12から13台／村。0xでも耕作する。6頭／戸

肥料NPKはcaw dry manous有機物。Insect防除はするが、除草剤はやらない。

マンゴの収穫期、june to july。トラクターはドライバー付きで貸す。Rent： 100Rs／エーカー。1ha＝2.47エーカー

buffaloよりoxのほうがよく使役できる。

庭の花：ヒマワリ、ダリア、マリーゴールド、ピンカ、カンナ、ハイビスカス、ヒャクニチソウ、バラ。蘭は作らない。

学校制度や日本製品についての解説・意見は省略

Aの父60歳はno education。今の若者はほとんど（今40%、20年前20%）学校に行き、読書ができる。

83-9-9	National Agricultural Institute; All India Coodinated Improvement Project, IARI Regional Station. Karnal, Hariana	Dr. Mahabal Ram; Project Coordinator
		トウジンビエはchapatiiに、シコクビエは北部で作っている。 Dlhi bus terminal 9:30, Ranipat 11:00, Karnal 11:45. オオムギのセンター。 気候がオオムギ。16の試験場が全国にあり、ここはオオムギのセンター、昆虫、作物、生理部門。特に灌漑、salinityのことを中心に研究。 breedingの目的：1 穂が下垂すると雨がたまらず、穂発芽しない。2 短稈、3 高タンパク。収量はコムギ<米<オオムギ。多量のものを作る chapatiiはグルテン含量の多いものが必要。120－140以上。クリーム色のものがよい。焼いたときに黒いものはだめ。 短稈はN肥料を多くして収量を上げる。高いN, irrigationなどの改善。 maize、pearlmillet、sorghumも交雑により高収性の物を作ろうとしている。Pearl milletは品種改良が進められている。
83-9-10	Kathmandu, Nepal	
83-9-11	Kathmandu	
83-9-12	Kathmandu	1 Tribuvan UniversityのResearch Division Office、Mr.Gurngに調査許可を求める。2 農業省のScience & Technology Council, 窓口

Dr. Sharuma農業次官代理のrecommendationをとる。診療は保健局の許可、寄付することにすれば税金はない。

3 Ministry of Health at Teku, Nepal Medical Research Commitii。Microscopeなど研究資材は持ち帰ればよい。

簡単な報告書を帰国前に提出、健康についてと寄付薬のリスト。

NHK海外放送は天気がよいと5:40-7:40に聞ける。ネパール英語放送は11.840、8:00am、8:30pm

酒と果物： Kathmanduでは米から酒を作るが、山間地ではkodoから作る。

リンゴは入っていない。

Roomboyの話： 彼はIcangu村から2時間かけてホテルまで歩いてくる。夏はトウモロコシ、シコクビエ、イネ、トウガラシなどの野菜。

冬はwheat、tomato、potato。Barleyは作らない。

83-9-13 Kathmandu

cloudy、25C at 7am

調査打ち合わせ：

Oct. 6, Biratonagar Hotel Holiday Inn 3食でabout 150Rs . Daranまで4-5時間。Poterは現地で集める。

Dankuta (camp) ; Dasinの祭り。サードー Sherpa Mr. Tsering Phinjo 彼らはバスで行き、空港で会う。

食料は現地で。Oct. 16 Holiday inn.

Oct. 19 Lukula camping: shelpa 50Rs/day; cook 40Rs/day; kichin boy 30Rs/day; poter

tent はkitchin tool, sleeping bagを含めて、\$2/person/day. Kathmanduで買うものはcookと相談 sugar tea

interpreter about \$13/day; Mr. Rishi & Mr. Naresh

THT deposit-ok, newspaper-ok。Mr. Mothi, Mr. Pijo, Mr. Jothiに換金の相談

83-9-14 Kathmandu, Nepal

83-9-15 Kathmandu, Nepal

bazarで売っている野菜。Cardamine sp. 青っぽい花、少し。カキナ類、少し。ピンクのカブ、多い。コマツナ類、多い。

カボチャのつる、カレーに入れる、少ない。カボチャは多い。ハヤトウリは多い。オクラ12cm、少ない。ササゲ類25cm、少ない。

キュウリ、インドから卵型、筋入り、5-6cm x 4cm、多い。ナス緑から紫、少ない。

トウガラシは多い、図あり、red to gree、長い6-7cm、丸い3cm、楕円2.5cm、小さいほうがよりからい。

タマネギは多いが、4cmで小ぶり。ニラ少し。ショウガ、ニンニクは多い。ネギは少なく、細くて30cm。ジャガイモ多い。

サトイモは少ないが、芋茎も売っている。不明のウリ多い、たぶんキュウリだろう、路傍で切り売り、赤いソースをつけて食べる、

長さ20－25cm、太さ10cm。ヘチマ類少ない、長さ30－35cm、太さ5－6cm、図あり。トマトは多い、2－4cm。

ダイコンmuraは多い、長さ25cm、太さ4－5cm。レイシは少ない。キャベツ少ない(スアンヤブナートの途中)。

果物：リンゴは多い、reddish 5－6cm縦、4－5cm横。ミカン類多い、5－7cm。スダチ類多い、3cm。スグリ少ない、1.5cm。

ナツメ2.5cm緑、多い。バナナは多い、大12－13cm、小8cm。Amba不明多い4－6cm、果肉はピンク、黄色で匂いがよい、(グアバ2005)。

ナシ多い、5－6cm。ナツミカン類、10cm以上。不明の果実、少ない、表面多毛、長さ4－5cm、太さ2.5－3cm。

キンマだろう：インドでは多く見たが、ネパールでは少ない。Green leaf長さ10－12cm、幅9cm。いろいろなものを混ぜてすうように食べる。

☆bazarの種屋でいろいろなものを少しずつ買うことにしてはどうか？

アスパラは最近入れる、kukureri。エンドウkero。tomato卵型の果実gorubera。ニンジンgajar。シソはインドニューデリー市内でescape

してるのを見た。ヒマはよく見る。

花：ダリア赤。マリーゴールド、アフリカン。コスモス黄色。ヒャクニチソウpolycolor。ケイトウ赤から黄色。キンレンカ橙色。 *Oenothera* sp.

83-9-16 Swayambhunath

83-9-17 Swayambhunath

ネパール語の学習

finger millet, kodo. カキHaraho. オクラRantoria. ヘチマ類nangenio. レイシBarero. さらにする葉Bart. アーティチョーク型の果実Sariga.

ナツメRopshi. エダマメPodmas. ハヤトウリIsukusi. インゲン類マメTimin. ナシNasupati. タケノコの加工品Tama. タマネギPiar.

ニンニクrashun. ショウガadua. ワケギChepi. カレー粉Besha (r). 切り干し大根Mura shugaigo. 70cmくらいのヘチマ類ウリBironra.

ピーマンVegetable korsani. 小さいキュウリやキャベツ。ナスlenda. レモンGagadi. きのこと茶色で傘は10cm、Shao. カボチャParshi.

ごく小さいトウガラシ、最も高い、genmara. 緑の丸いトウガラシ、zera。

バナナsera. キャベツBadakobi. ユウガオRouka. ハッカBabari. トマト・ナツメ・ハッカを混ぜてピクルスにする。

サトイモPindaroダルに入れる。 ヤクのチーズDoluka茶色で非常に硬い。 サンショ類の実Chunbur

83-9-18 Imadol

83-9-19 Imadol

イヌホウズキ、ノゲン黄色、アザミsp. 薄紫。アオビユ、棘あり、なし。ワルナスビsp.。タカサブロウsp. オヒシバに似たほかの植物。

interpreter: Keshab Raj Lanshal (名) ブラーミン and Sudarshan (名) Munakarmi Newar.

イヌホウズキ、ノゲン黄色、アザミsp. 薄紫。アオビユ、棘あり、なし。ワルナスビsp.。タカサブロウsp. オヒシバに似たほかの植物。

interpreter: Keshab Raj Lanshal (名) ブラーミン and Sudarshan (名) Munakarmi Newar.

83-9-20 Imadol

雑草学としてのテーマ: ①*Ageratum* いくつかの経路ではあったか?。紫より白花が多い理由は? 畦や路傍に多くある理由は?

種子散布法は?。②ウシ・ヤギからの防御、ハッカが道に非常に多い。チョウセンアサガオ・イラクサはとげないし毒をもつ。ナス科sp.、

毒があり、道に多い。 ③イネの新品種導入と**雑草ヒエ**のmimicryおよび変異。過去、イネが草丈の高いとき(5年前まで)に共進化

した、ヒエは現在短稈の新品種導入により、存在が目立つ。図あり。草丈、出穂期のアンバランス。

④*Rorrip dubia*: roadside, garden, levee of paddyにある。Leveeに生育するのは、日本と異なって、他種がないので、そのニッチを

占めることになっている。

83-9-21 Imadol

83-9-22 Imadol

primary school: 児童80人、一同じクラスで内容も同じ。先生1名(19歳) Danusha出身で、今は下宿。PatanサムユッタCampus,

Political 専攻。。全科目を教えている。Nepalese, Mathematics, Social sciences, Englishも少し、体育もする。

授業10-14:30 昼抜き、50%は常に出席。時計がないので、時間がわからない。夏・冬休みはある。1ヶ月くらい。

textbookは政府がくれる。4年前は1-3classまで、今は1-5 classまでもらえる。Noteはみなが持っているわけではない。

チョークで書く。先生はよい職業と思う。全国的に先生は不足している。給料465Rs/month、hotelのboyさんと同じくらい。

先生の研修はある。Primary 1-3class。 Middlescholl・secondary 4-7 class。 High school 8-10.

ここでいう class は学年のことか？ Nepalには義務教育がない。大学college 4年、大学院university 3年。

女性先生12%。先生同士の結婚はない。テストを受けて先生になる。High schoolないしcollege卒でなる。転勤はほとんどなく、

長らく同じ学校にいる。先生の名前はRajkumar Saha. 8月に開校したばかり。

highschoolは生徒500人、先生16人。ImadolPanchから集まってくる。息子さん2ヶ月前に結婚。9th classはネパールの歴史。

英語も習っている。学校は面白い。Engineerになりたい。農業は好きだが土地がない。妻はward4からもらい、子どもの時から知っていた。

83-9-23 Imadol

upa (パンチャット副議長)の家Imadol Panchayatのchairman : No.6 Pradahan Panch, Imadol Village, name ; Sita Ram Shasma

クコpurple flower、ネナシカズラまれにあり。計量は策のようなものです。カーペットは700Rs。

金曜日は朝食しか食べない。Riceは買う、1 pathiで30Rs (写真撮る)。他の仕事がないので、農業はよいと思っている。

カーペット作りとか他の仕事もしたい。新居を作ったとき、葬式のあと、ボダイジュやマンゴの葉で注連縄様の物を作る。

R Newar GM80歳、夫婦、夫60歳、妻は後妻、子ども3名ほか、合計12名の家。

自作paddy 12R, 40M, 台中only栽培、5-10月。 Garden 2R (Rはdropani面積、Mム一重さか) 合計12R。

maizeは4-8月、1 M/R. wheat赤 12-5月、2 M/12R. Bean batomus 4-8月。Spice kolsani 4-8月、5kg /2R。

ウシ2頭、milkとる。農業収入 1,200Rs. govt. serv. 収入は少し。支出 500Rs, 衣服800Rs, 教育200Rs。

roxiはtabooで飲まない。

V Chetri KC 両親53, 42歳。 子どもM25, F23, 合計4人。

paddy 6R (rent) 、 20M/6R. July to Dec. 台中のみ栽培。 Maize 12 pathi、wheat 1M, bean 2 pathi, korsani 2 pathi.

ウシ1頭, ニワトリ羽。農業年収 1,000Rs。 支出 食品 500Rs, energy=wood 500Rs?、教育 150Rs。

roxiは飲まない。オオムギはごく少し作っていて、神にささげる。

Agricultural
Botany Division,
Lalitpul

Nepal農業省の証明を成田で防疫と別送品で示す。到着の翌日。問題はイネ。

83-9-24 Imadol

83-9-25 Imadol

Ochu, Imadol Panchayat, Bactipul

Imadol Panchy 議長: 耕地 1,000Ropani (Wachu) , 10,000R (Imadol p.) 。 NagarPanchyは川の近くで水があるが、

ImadolPanchyには川が1つしかなく、水場に困る。 1年前にパイプはできたがまだ給水できない。タンクから (Chapagaun村) から

もってくる。地下水、各集落に分ける。完成すればほぼよい。他にもボーリングは必要。

ImadolPanchyatの人口は5,500人、戸数1,000。ほぼ全戸が農業、工芸をしている人も農業をしている。9 wardで構成されている。

chetri 95%, Newar 2%, Braman 3%, Magar/Sarki少数。 2,000前から集落はあった。

Wachu が最も大きい集落で、200戸。Imadolにはレンガbatta工場が26箇所。Ward6のImadol集落にはIgaarの上に stupaがある。

Imadol Panchuyにはpradanpan 1名、upa-pradanpanch補佐役1名、各集落代表9名。各集落から4名、計36名。 Ga, sa, sa

meeting 2-3回/月。Seasonのときは早朝にするが、午後するときもある。5年に1回、選挙で村民全員が投票する。(推薦者を選ぶ)

Panchの役員給料はない。選挙権・被選挙権はともに21歳以上の男女。他の村には女性もいる。Mahila Union女性同盟、panch

のメンバーで、女性問題を提起する。21歳以上。9集落から9名いて、代表1名はPanchyの会議で発言できる。

Imadolに小学校は2校、80名と150名。HighSchoolはjuniorとsiniorを含み、合計1,000名。他のpanchyからも来る。英語学校は

村立 100名、40Rs/月の月謝。半分は政府、半分は学生が払う。ただし、小学校は政府の援助で、99%はいく。
HighSchoolへ

は不明だが、KTM (カトマンズ) やPAT (パタン) へも出ている。教育問題は小中学校をそれぞれ1校増設したい。

☆農業： 耕地10,000Ropani: 主要作物多い順 1. rice, 赤い味rhatodhan (20年前), poknrali (10年前)、台
中が多い。

2. wheat 赤rhato, 白setoの2品種。 3. maize seto, rhat, (yellow) pahelの3品種。 Beansは botomasが多い。
5. potato

kodoは少しだけある。モロコシは5年前まであった。ソバはほぼない。マメは黒、白、茶色種皮がある。 Korsani丸
型は少しだけ作る。

2,000年前には伝わっていたという。 ニンニクはあまり使わない。ウコンはある。Potatoを多く作っていて、
tarkaliに入れる、品種は1。

地図はない。米は買うほうが多い(55%)、売る人は5人くらい。つまり自作農(大) 40Ropaniは5戸のみ。

ほとんどの人は小作人。地主はPatan or KTMにいる。 4M/Rのうち、 1M 3Pathi/Rを支払う。 95%はrent。

caw. ox 1,700頭. buffalo 60頭. chicken 7,000羽 eggを Patanに売る。 Goat 200. Pigはいない。

トラクターはない。足踏み式脱穀機200台。製粉(米)所は2ヶ所。ぬかはウシのえさにする。

肥料は液体とpowder、 urea complex。ほとんどの農家で買って施す。主にイネ、maizeに与え、wheatには与えな
い。農薬は施す。

堆肥はまれにやる。稲わらはえさか敷き藁にする。黒穂病wheatには播種前に農薬を施す。

社会構成： 1farmaer, 2 officeman 15%. Teacher, government service, banker, police, army. 3
marchant, shop 15戸。

靴作り、かじや4戸、粉ひき。床屋はいない。

O Chetri, Khadka=caste. Family 4名. head 25歳、GOVTservice テスト合格。 wife 24歳, 西部から来た。
daughters 2名 2&3歳。

2Ropani(rent) 水田 12M/2R、台中のみ栽培。5月に播種、6月移植、収穫?。

wheat 2M/2R. Dec to May. Spice 2 pathi. Korsani, fertilizerなし。 corn 1, bean 3 pathi.

支出 : Meal 200Rs, energy 100Rs, cloth 200Rs, = 500Rs/month

83-9-26 Ochu, word no. 9. 人口 300から350名。戸数55。

社会構成tribe: 1 Chetri 40戸、 2 Newar 5戸、この45戸は農家。3 shose maker 3戸、(sarlehi)の農業はやっていない。

4 Magar 7戸、農家。

service 20名。Agriculture landowner 5戸。最大自作 25Ropani は1戸のみ, 15Rも1戸のみ。地主の多くはPatanにいる。

約50戸は小作農。Patanの地主40名、最大貸し地主は50Ropaniをかしている。地主の仕事はbusinessman, service

latte=Amaranth。Yellow花を見るだけ、あるいはwheat rotiに少し入れるかトッピングに振り掛ける。

red花は神にささげる。

rice台中、早晚生、China 60年前に入れる。Wheatにはroto (Nepal在来) とseto (多収で、5年前に導入した。屋根ふきにも使う)

草丈が長いということか?。Yield 1.5 M/R. barleyは食べないので作らない。化学肥料はやらずに、堆肥soterはやる。

makai にはjunelo と kuma l (r) の2品種。Yeild 6 pathi/Ropani。Korsaniは自家消費のみ。どこから来たかは不明だが60年前からある。

kodo は**dido** にする。**Roxi**は飲まないが作って売る。

P. school 児童80名だったが1名死亡で、現員79名。先生1名。establishment 1年前(1982)、政府の援助がなかったので、

遅くなった。建物は村で作ったが、よくないので建て替えたい。先生の給料はGovt. が出す。Ochu, word no. 9. の子どものみ通う。

textbookは政府がくれる。Noteやpencileは各自。

toiletは1年前に作った。理由は衛生上とダイコンに施肥するため。

Meeting: 4:30-

(A)Magar tribe: C Magar: head 夫長男 46歳、小学校の小使い。Wife36歳。子ども 4名。合計6名。

paddy 4M/R, 4月-10月. upland riceも少し栽培。Wheat 1M/R 11月-3月末. Potatoは少し。

breakfast は**bhat**. Dinner は9pm, bhat, dal, tarkari

(B) R Magar: 13年前に分家し、5年前に建て替えた。次男だが母を引き取る、36歳。妻は34歳。2名とも自動車工場で働いている

son 1名, daughter 1名, total 5名. Rice, 2Ropani, 4M/R. Maize, a little. Wheat, 2 Ropani. Chilli & potato, a few.

ヒツジ 2頭、ヤギ 22頭、ニワトリ 4羽。

工場からの収入 6,000Rs、 food 4,000 Rs、 rent代 200Rs.

panchy. のSecretary (3年前から働いている) の仕事は： 政府に報告書を書く。村の畑の問題、土地や水争い。土地の交換。

panchy. のSecretary (3年前から働いている) の仕事は： 政府に報告書を書く。村の畑の問題、土地や水争い。土地の交換。

joint family の分家。離婚。—— Home Ministryへの住民登録、家を作るときのplanningや許可を行なう。

道路の補修を含む。District Panchy. から資金が来て、村人が作業をする。

Laritpur Dist. には43 panchy. がある。選挙委員会から人が来て、panchyatのboadingをする。

村内の裁判： 特に水のこと、畑のこと、水場hitiを作ってほしい。水争いはある。他人の畑の無断名義書き換え。

畑のものの盗難。遺産相続の問題。

未亡人になると、財産はjoint familiyの兄弟に行く。子どもも同じで、未亡人は何も残らない。そこで、Pradanに訴える。

→裁判して、調停し、signする。なければ、食べ物も何ももらえない。Panchyatで判決できなければ、裁判所行く。

Rule of Panchyat: Meetingを開く。連絡する。Unionのrule。禁止事項； 他人の畑に家畜を入れない。家を作るときの許可。

お酒を飲んで夜遅くまでうろつく。会社のsmoke排気許可。道路作りの労働提供。水の分配。Tax (店、道路、工場) の流れ；

Panchyat → (Bank) → District Panchyat → Home Ministry、dataはここに保管する。各戸がpanchyatにtaxを払うことはない。

meetingで寄付を募ることはある。罰金のみはpoliceに、追放はない。村八分は、50年前にはあったが、今はない。

農業指導はMinistry of Agricultureからの情報で、panchyatが行なう。販売のためには来る。kissam Union (農協) があり、

代表1名がpanchayatに出る。出生、結婚、死亡などは35日以内に届ける。

路傍の雑草植生調査図あり。3ページ。2表を次にまとめる。

R Magar (Thapa) : head 61歳、息子24歳+妻20歳；息子22歳+妻19歳、合計5名。

5R(rent) paddy 10M/2R; 6月-10月. wheat 6M; millet 10pathi. Caw 2, goat 1; chikin 5

収入 ー。支出：食物 300Rs/月。エネルギー 100Rs. 23 pathi(rice)-house rent ; 2,000 Rs. dress。

education、 100 Rs.

5 am wake; lunch 10 am, bhat,dal, tarkari, water & milk. Tiffin 2 pm; diner 8 pm. Sleep 9pm.

rice のtransplantingは女がする。男は入れない (taboo) 。

83-9-28 農業省農業試験場
reception

キランティ王国についての講義少し

Biratonagar方向へチベットからライ、リンブー族が南下して、王国を築いた。ネパールを概観すると、KTM周辺には Chetri, Newar, Magar

の諸族が、低地にはヒンズーの人々、LuklaはSherpa、DankutaからBiratonagarにRai, Linbu族が分布。

83-9-29

amのみImadolの山のほうへ、 Badhghon方面へ

kodo は小面積ながら、斜面によく作られていた。 white seeds は早生、 black seedsは晩生。 A type、屈曲穂。 Btype、直穂。

図あり。

Amaranthusは各農家の kitchen garden に少しずつ栽培されている。

花序にA type直立, yellow花, red花。 B typeは red花、下垂する。

エゴマshiramはキッチンガーデン、近くの畦べりで作られていた。ピクルスに入れる。開花中で種子は取れなかった。

sorghumの穂には2型がある。KTMではまれにしか見ない。密穂型、多目の面積で作る。疎穂型2-5個体しか作らない。

図あり。密穂は食用、疎穂は箒用か。

これまでの観察を考察してまとめる：

○雑草について：（1）KTM； garden, roadside のweedy plantsのほとんどを採集した。（2）Ochu, Imadol Dist. Upland field and paddy field

のものは大半は採集した。コナギは未採集。ホテイアオイは2ヶ所Swanyab. と Dept. of Agri. の庭で見た。

○tribeについての印象：（1）Chetri は酒を飲まずに、清潔好き。joint family大きな家の一戸建て。 meat は週に1回程度。

goat, chicken or buffalo を食べる。主に農業に従事。人柄は明るく、素朴で、平均的 Nepal人。美男・美女もいる。家の図あり。

台所1階、寝室2階。貯蔵庫3階。

(2)Magarは酒お飲まない。別戸を近くに建てて、兄弟ですむ。ほぼ小作人で、少ししか

農地を持たない。台所1階、寝室2階。

(3)Newarは酒をたしなむ。大きなjoint familyを作る。農業のほか、商人が多い。商才に長けるが、人柄は不安定。

(4)Tamanは白壁の家を作る。農業、ごく素朴な人柄。

上層casteに属すtribeほど屈託がない。下層は差別の下にある。この不条理は越えられない。

energy cycleの図あり。取るばかりで、recycleが少ない。化学肥料と堆肥を少しのみ。わらと牛糞は燃料。

soilは粘土質で、有機物に乏しい。耕作土は浅い。初期成育に水不足。→ 改善： 牛糞を還元すればよい。

わら、牛糞は燃料、家の素材。→ したがって、還元できずに、土地はやせる。

トウガラシの主な3型。図あり。長い、小さくて長細い、丸い。

83-9-30	Theco, Rukubu, Laltipul	イネの草丈： 85cm混合、一部黒い穎、脱粒性強い、japonica。60cm indica。 100cm 黄色い穎。これらに対して タイヌビエは120cm、70cmがある。脱粒性。米の中に少し入れて食べると香りがよく、おいしい。 Ketu (Newar) 、 sama。 Meeting 4 p mー。①trekking permission 5週間ok。 ②2日にpassportをTHTに持っていく。TGのチケット。 ③ LuklaはNov.5 KYM帰り、予定1日変更。 ④ Biratonagar → Dankutaはtent、荷物は5日に出す。Cookと kitchenboyは
---------	-------------------------	---

		はバスで行く。 Mr. Pinjoはplaneで行く。 ⑤ trecking pack 1日、25ドル。
83-10-1	Theco, holiday	セイタカアワダチソウ; airport, Ochu のtemple, KTMの USSR Emb.近くの Garden Seeds amples in KTM varlley: maize 12 strains, sorghum 2+(1), <i>Fagopyrum</i> 1, <i>Setaria</i> 1, kodo 4+(1), amaranth 13, beans about 20, wheat about 2. Kathmandu で想うこと: ナマスカーラ! 笑顔優しい人々よ 黒い筋肉のポーター 赤いサリーの女性 ククリのようなグルカ兵 風に泳ぐ女子学生たち Kathmando Valleyの丘から純白の顔をのぞかせる 神々の雪峰 深い夜空を流れる銀河 Oct.1(sat) 9:00- Biratonagarへの準備: 約20kgは各自持つ。洗面具、衣類、手袋、調査道具、light, 水筒、medicine腹, 風邪、殺虫剤 雨具、洗濯、生活用具、ウイスキー1本、アルコール綿。 Dankuta; east Rimbu, west Rai. Luklaの下までRaiはいる。
83-10-2	K T M	
83-10-3	K T M	Kings Wayには<i>Rorippa</i>開花し始めたものあり、花卉はある。VanVan通りのカヤツリグサなど2-3種。THT gardenのポインセチア。 庭の雑草で、<i>C. flexuosa</i>, <i>R. dubia</i>, <i>Vandaria</i> spp. は多く見かける。ブーゲンビリア、芙蓉、ポインセチア等は非常に良好な生活をしている。 Sept 末にkodoや <i>Sorghum</i>は開花から登熟中であつた。<i>Sorghum</i>には 2typeが見られた。疎/密穂型。図あり。
83-10-4	K T M	
83-10-5	K T M	Plant Pathology Division: クンモルタール、Ring roadから入る。ラジオ・ネパールの近く。 Agranomy Division: rice 15年前、台中導入、(1) T-176、chulaにするのによい。(2) chianung 242。(1)(2)はそれほどの差はない品種、(1)のほうが収量がよい。 (3) K-39。(4) IRRI seriesからselectしたもの。Kandiar 92は乾燥に強い。Himali。 Pokhrel. Mashino : 倒伏耐性、脱粒性の問題。台中よりおいしい。Taraiから入れる。 黒い粒、island type, local variety, China からはいった。var.name Tapackinia(japonicaと indicaとのhybridであろう)

dry areaで有効、まれに作られている。

barley KTM ではあまり作らない。 Fest.用に少しだけ作っている。 多くはIndiaから、 Tibetについては不明。

wheat Mexican var. 70%作る。 Seto多くはこれを作っているが、数年前に westernから入った。 Ratoはnative, local var. でSmall red grain

foxtail milletはwestern地方で少し作っている。

Pnicumはpearl milletと同じということ。 kichen gardenで作る程度で、 flourにして roti にする。

Sorghumは各地で少しずつ作って popcornにする。経済作物ではない。 West Tarai に dwarf typeがある。草丈が高いのと味が違う。

鳥害があつてよくない。

Echinochroa は雑草としてあるのみで、作物はない。

6 試験場で研究している。(1)Rice はBilgangiで、 (2)wheat と(3)maizeはHill Region. (4)Legumous, (5)kodo, Amaranth

このstation は1966 にestablished, Patan Agricultural Division.

Bean: soybean, chickpea, pigionpea, etc. lentil マメはmeizeなどの間作に作る。家庭用に使う。Local var. と政府推薦var.

はmarketingとの関係で必ずしも政府の推薦品種が普及しない。センダングサは野菜として食べる。Mexicoから帰化したということか。

旅行予定表変更あり。

山本氏の講義: Rai族; 首長の意が変じて、普通名詞。Rinbu=suppa 首長の意。BC2 Kiranty王国、KTMまで含む。BCにグルカ

が入り始める。18C西からヒンズーが侵入。Raiは1000から2000mに、小さい石造1階、草かスレート。散在村。

maize, *Brassica*カラシナ、素焼きの甕、真鍮の壺、穀物用のかご、鉄の鍋、水は竹筒で汲んでくる。 People of Nepal

Rai族: upland; maize, kodo, wheat、カラシナ。これらが主食料、didoにして食べる。 Paddy; 酒とビールを造る。

vegetables, beans, potato。日に2食、米は特別のときにのみ食べる。切り替え畑を作り、2-3年休耕。

土地はkibatt制度下にある。共有地（民族、部族）、無税だが、kibattを維持する資金を集める。5Rs/戸くらい。所有権はなく、収益権のみある。

所属する人； kibatiya。Rinbuの人も加わるが、これはRaityと呼ぶ。Gruca兵に志願している。7世代までは同氏族内で結婚できない。

相手は好きに選べる。スワギ儀式；初穂をささげる。カマン守護神（各戸の）、獲物は最初にささげる。

ゴバ（シャーマン）。首長Raiha長男が世襲、1から数名いる。村の行政や司法をしている。

小家族制度、かつては50世帯以上の大家族制があった、200名以上。合計人口 24万人。

Rinbu族； 人口14万人。Darokilant=Rimbuwan； Arun Riverより東、Dankutaを含む。RinbuとRaiは言語が異なる。

高い傾斜地に家がある。800から1300m。1階の壁は赤・白の泥で塗る。戸や窓は黒。

CropsはRaiと類似。Paddyは一毛作で休耕。Maizeは2,3-8月栽培。Kodoは6-11月。Wheat・barleyは10月種まき。

roksi=tompha、channは多く作る。Beans, potato。

kibattの会費 6Rs50paisa、10戸くらいで構成。一夫一婦制で父方居住。歌垣がある。

山・地・川の神。木や石。Raiと類似、11,12月にかわらで祭る。ヒンズーの影響もある。

83-10-6	K T M	
83-10-7	Biratonagar	
83-10-8	Dankuta	
83-10-9	Hile	シコクビエのtransplantingは男女ともに行なう。Collection: 1 Biratonagar, 2 Dankutaの手前で、3 Dankuta前のつり橋近く 4 Hile A,B。各1テントです。3-4人用を一人で使うので、広いスペースがある。日本で11:30pm、早いけれど寝る。 標本整理もしないで。
83-10-10		potatoはrato 楕円型、Seto丸型の2品種。Maizeはwhiteとyellow。Kodo。
83-10-11		

83-10-12

Hile地区の植生の特徴：

木本はニレ科のものが少し。*Rubus* 1 species, ノボタン類3-4種。草地はシバとツリフネが多い。エーデルワイスも多い。

これは細葉が多いが、まれに広葉のものもある。ツユクサは2-3種。ラン科は3種あるが、ユリ科はまったく見られず。

作物は： 1 maizeの粗放栽培。2 シコクビエ。3 ダイズ。ここで1と2・3は間作する。4 oilseedキク科のyellow seed (ニガーシド)

ナタネ類。他の作物はあまりなく、ソバがごくまれにある。

植林が必要と思われる。霧が多く一日中晴れることがない。Temperature day 22-23C, night 15C. Windは少ない。

tribeはTamanが多いが、もっと奥に進むとRaiが住む。Dasain Fest.の直前で、壁塗りが忙しい。白壁、赤茶壁。窓枠はgreen, light blue

kodochan tombaの図あり。お湯を注いで、3-4度はok, 飲む。味はすっぱいが、うまい。容器（酒器）をtombaという。

Rhododendronの幹で作る。1個 300Rs. (他の生活費と比較すると、かなり高価に思われる)

食品店： riceは丸精白、か chula。 makai, kodo, wheat flour etc.

vegetables 1aluが多い, 2 ハヤトウリ 3 トウガラシ 3-4 var.。 4 タマネギ、 5 菜っ葉。KTMと比べて野菜が非常に少ない。

Hindo が多く、Lamaは少ない。Tibetan婦人の服装の図あり。Topiはcolorfulで、KTMより高くし、折り曲げない。黒（役人）の人はいない。

Dankutaでは製造していた。包丁の独特な使い方の図あり。

Amaranthとエゴマは各地で見られた。

83-10-13

83-10-14

標高の図あり。Biratonagar 180m. この間イネがほとんど。 Daran 350m. 以後1000mくらいまで、イネが中心で、モロコシはまれ、

シコクビエは少ない。 Dankuta 1420m. *Ageratum* も上がっている、ナス科トゲあり yellow fruitは2000mまで生育している。

この間、イネ少し、トウモロコシ、シコクビエが多い。 Hile 1950m. その後、トウモロコシとジャガイモのみ。 2150m.

標高の図あり。Biratonagar 180m. この間イネがほとんど。 Daran 350m. 以後1000mくらいまで、イネが中心で、モロコシはまれ、シコクビエは少ない。 Dankuta 1420m. *Ageratum* も上がっている、ナス科トゲあり yellow fruitは2000mまで生育している。

この間、イネ少し、トウモロコシ、シコクビエが多い。 Hile 1950m. その後、トウモロコシとジャガイモのみ。 2150m.

83-10-15 Biratonagar

83-10-16 KTM → Lukla: 8時発で、9時頃着く。そのままテントで1泊する。

83-10-17 Lukla 9:30am発 からGhat を経て Phakjung 3pm着 で1泊する。

食事は日に3回、10時、13時、19時。ソバのツアンパが主食。他にコムギ、オオムギ、ジャガイモ、アマランサス。

Main Crops: 1 wheat多い, 2 barleyまあまあ, 3 potato多い, 4 *Fagopyrum*多い, 5 maize少ない, 6 キクイモは牛の餌として多い。

7 マメ類 3種くらい, 8 kodoはまあまあ, 9 *Amaranth*はごく少ない。chili はほとんど取れない。 Garlicは少しありそう。

ソバは*F. tartaricum*が多く栽培されており、草丈は30-40cmしかない。他の新しい2品種は晩生であるが、50-60cm以上の

草丈がある。キクイモは草丈2m弱で、分枝せず、またあまり花もついていない。しかし、良好なイモで、牛の餌にしている。

そばの収量は見るところ、1リットル／㎡もなさそうである。*F. tartaricum*は女性的な草姿をもっている。地際より刈り取る。

*Amaranth*はpilin と呼称され、粉に挽いてからkodoと同じくツアンパにする。Serpa族は主にkodo、pharpal (ソバ) のツアンパと

potatoを食べる。Chanは購入した米より作る。Roksiにはあまりしない。Makaiはあまりできない。粒の大きな、草丈3mくらいの新しい

品種が入っているが、まれにしか見られない。やはり、flourにしてからツアンパにするようだ。

Ghat から Phakjung にかけてマツが多く、シャクナゲも混じり、まあまあの高木10m以上になっている。

Mazus spp はLukla から Phakjung にかけて人家近くあるいは日当たりのよい roadside によく見られる。ストロンを持って、

約5-10ほどのramets を作っている。茎は赤紫色で、有毛。花色はトキワハゼに似て小型花白に近い薄紫から、小型花ではあるが

ムラサキサギゴケに似るほどの薄紫のものまである。萼が大きいのは日本産両種とは異なる特徴である。

Zo: caw x yak のF1. 主に運搬に使役する。ウシより大型で、ヤクよりおとなしい。Yakは4000m以上で活躍し、下へは降りない。

zoはTibetへ輸出する。

気温: Lukla 2830m、快晴、3-4C on 3-4am、 27C in daytime、 10C on 7 p m。Phakjung 2620m、13C on 6pm。曇天

gatta 水車の碾き臼。

83-10-18	Phakjung 9am発で、 Manjo 10:30am着。Manjo 泊。2840m提示標高（高度計で2760m）、5C On 6:50 快晴 amaranth は赤いから、好まないので作るのをやめた。Potatoの小さいのはつぶして、乾燥させ、粉にしてrotiに使う。 Monjo手前のlodge萩山氏は林試を退官後来た。土地はTHTのもので、 EVHotelに野菜を送る Phakjung 9am発で、 Manjo 10:30am着。Manjo 泊。2840m提示標高（高度計で2760m）、5C On 6:50 快晴 amaranth は赤いから、好まないので作るのをやめた。Potatoの小さいのはつぶして、乾燥させ、粉にしてrotiに使う。
83-10-19	Manjo 発、途中の Josale checkpoint で、trecking permission をみせる 9:20。 Namche Bazar (34440m) 12:00 着。 Kunbila 聖山 6000m 弱。 Manjo 発、途中の Josale checkpoint で、trecking permission をみせる 9:20。 Namche Bazar (34440m) 12:00 着。 Kunbila 聖山 6000m 弱。 Manjo 発、途中の Josale check point で、trecking permission をみせる 9:20。 Namche Bazar (34440m) 12:00 着。

Kunbila 聖山 6000m 弱。

83-10-20

Kumujung Namche 3440m, 10:00 発、 EVHotel 3860m 12:20着。

Namche では potato と野菜しかできない。米などは下から持ち上げたものを bazar で買う。市は土曜日の8-11時頃まで。

Namche は約 100 戸。人口 約900人。ほとんどが 1 Sherpa 96戸、 2 biswokrana 4戸 (あるいはg (c) amin、これは蔑称らしい)

村史については不明。Pure Serpaは4-5戸で、多くはチベットから入り、混血してsherpaと称した。全Nepalで8000人。

EVHotelからの展望図有。(この写真は拡大した)

Namche の村長 Anguphurba Sherpa 43歳。 6ヶ月日本にいた。 Pradan Panch of Namche Panchyat

Josale から Namcheまで, District Sorkumbu. 村長の旧称はTejalukadar。立会演説やポスターも貼る。

Pradan、 Upa-Pradan、 集落代表 Namche 1-3 ward, Wadasam-ti。

chan は kodo がhealth によいが、riceのが口当たりが良いので、米で作る。

Crops: ソバ。potao, 1 導入種 Oct.20開花中、政府推薦で大きいがまずい。2 在来白・在来赤は小さいがうまい。

vegetables: ライサー葉菜在来品、ジャガイモの後、1-2ヶ月で取る。ムラ (ダイコン) 1 甘い、2 辛い2品種。

新野菜は竹村氏が教えた。Garlicは在来で大型。

aluジャガイモは3月初旬植えつけて、8-10月に収穫。女性が掘り、男性が運ぶ。Phapalソバは4月に播き、9-10月に収穫。

農地は私有 taxは 0.8-1.6Rs/Rで山地は安い。 Pnanchyatが集めて、政府に出す。Namcheの耕地は正確に測っていない。

そのほかのtax: 1 bazarでは1かご当たり 1Rs のtaxをとり、 Panchyatに入れる。2 shop は10Rs/month。他に各戸ごと。

電気はUNESCOのproject公共事業の時のみ、panchayatから援助が来る。

チベット貿易: 20%の男が従事。Yakをつかう。夏は雪がやわらかいから人しかいけない。Bo r derから1-2日、30kmまでは

pasportいらない。片道7日かかる。Nepalからは染料、buffaloの革（靴を造る）、糸、タバコ。食品は不可。

チベットからはヒツジの毛糸、塩、干し肉、たん茶。Bazarには上（中国）・下（**DaranとDankutaの中間地域**）から来る。

大麦は黒いのがおいしい、ツアンパにしたら白くなる。1 トウガラシはラウンド・ジェンマラ（アカバネ？）が辛くて最も良い。

2 イネ米2-3種、ほとんど中間型で、台中japonica typeは来ない。Luklaから3-5日のところ、石油はBiratonagarから来る。

米はおいしいから買う。40年前からモノ日には米をてべていた。Sherpaはpotatoが最もおいしいと思う。

下から来る人は白い衣服。上から来る人は黒い衣服。昔は物々交換であったが、今はお金です。

上（中国／チベット）： チベットの塩を買う。量が少ないから高い。チベット茶に使う。この岩塩はIヨウ素を含んでいる。

チベットオオムギ： 3月播き、8月収穫で、乾燥後、9月に脱穀。4000mのDenbocheのみで作っている。

Sherpaの習慣として、初めの1-2穂は大黒柱に飾り、神にささげる。後は**ツアンパ**にする。

昔は各戸から1名出たが、今はPanchyatから言って人を募る。Projectの労力の25%は土地の人が提供する。道路、マニ、橋を造る。

共同作業で、賃金はないが、出ない内はお金を支払う。

家を建てる時は無償で助けていたが、今はお金を出さないと来てくれない。農作業は共同で行なうことがある。結婚式は親類のみです。

葬式・火葬し、骨を土に混ぜて大岩の上に置く。他は川に流す。火葬場は決まっているが、大岩の場所などは大まかにしか決まっていない。

東西のどこどこと決める。仏様には7杯の水を差し上げる。毎日取り替える。いろいろなものも7で売る。7の意味は不明。

日課： 5:30am; 女性が起きてお茶を造る。7:00; tea ghi かmilk。 8:00 朝食 ツアンパ、チューラ。 11-12 lunch bhat,

tarkari。肉は主に冬に使う。Yak, buffalo, sheep, goat を使うが、鶏肉は普通は食べない。 4:00pm tiffin tea, potato with chili。

7-9pm diner; **bhat、シャクパ、dido**のいずれか。10pm 就寝。

チャンは朝から夕方までいつでも使う。大量に作る。Kodoがbestだが作るのが難しい。Riceは作りやすい。Makai/rice あるいは

makai/kodoを混ぜて作るが、purekodoが最も良い。Roksiはあまり飲まない。健康によくない・

tarkariはNepalから伝わった。チベタンとシェルパのsystemはほぼ同じ。

potatoにソバ、コムギ粉を加えて、pancake, dido を作る。

クムジュンは140戸。NewYearのシンボル;ツアンパ盛の図有。

作物： 1 potato 赤と黄色。 2 pharpalはsetoの1品種。 3 vegetables ニンニク、ダイコン、ニンジン、キャベツ

83-10-21 Namche

7-11am bazar、そ

83-10-22 の後 Phakjungに
行く。

雑草研究種のとめ：

Cardamine: 1 *Cardamine flexuosa* hotelAnnaplunaの庭、KTM, Ochu. の水田の Levee. 3mm white flower, annual

2 *C. flexuosa* spp. EV Hotel 3900mの階段のところに生えていた。 2-3mm の薄青色の花。草丈15cm。花茎は分枝、有毛。

Perennialかも、種子散布後、越冬芽らしきものがあつたから。

3 *C. x* spp. Pakding. Monjoの上。2800m。草丈20cm以上中型。 White flower 4-6mm on roadsideにまれ。角果は長い

Mazus: 1 *M. japonicus*. Annual. KTMの庭地。 Tribhuvan UniversityとHotel Annapulnaの庭にはあつたが、Biratnagarにはなかった。

2 *M. xx* spp. Perennnial. Lukla 2860m/Pakding/Manjo/ を経て、

Check point in National park/3200m のroadsideまで行くと見られなくなった。花色は白っぽい紫から少し濃い目の紫。1cmくらい。

1は *Cardamine flexuosa*、 *Rorippa dubia* と一緒に生えている。この種は*M. surculosus* と同定できるか。DankutaからHileにかけて

1800-2200mに生育していた。日あたりの良い路傍ないし畑の縁、grass landに生育。茎葉は多毛。

Rorippa: 1 *R. dubia* は roadside に多い KTM. Levee にも非常に多くある Ochu. 花卉なし。 2 *R. indica* KTM のroadsideに .

花卉が有るものがあり、10月の初旬に見られた。 3 *R. islandica* Ochu の levee にまれにあった。

課題: ① levee と roadsideとの ecotypic differentiation ② Nepal とJapan の種分化 ③ *R. dubia* の habitat の位置づけ。

他の2種との関連で。 ③その他、キリンソウ属*Sedam*、ヤマボウシ、*Amaranthus*

Fagophyrum: Lukla(wheat, potato)/ Pakding(ダッタンソバの畑の縁にweed有)/ Manjo (potato、ダッタンソバ)/ Namche(ジャガイモ、

ダッタンソバ)/ EV Hotel (ない)/ Kumjung (ジャガイモ、ダッタンソバ)/ ダッタンソバ畑のweedソバの分布図有。

weed とcult. とセットで採集する。比較栽培及び交雑と染色体を見る。 Phakdingと Monjoの間に見られる。

主人はSherpa で、クムジュンにはサードーが10名ほどいる。 Barleyは作っていない。

Namche, Kunde, Kumjung. は通婚圏にある。 Phinjo氏の兄は kumjung にいる。家族数は6名。末弟が家を継ぐ。

男がいないと養子を末娘が取り、両親と住む。

83-10-23 Phakjung

ゴンパに行く。Drs. FKYはLuklaに行く。

83-10-24 Phakjung

Shakpa: すいとんというより雑炊。材料; ダイコンlau 2kg、ジャガイモliki 1.5kg、米da 750g、小麦粉eri 今回入れない。

塩cha 大匙5杯。 トウガラシmatchi 丸型2個。 Spice erman 小匙1杯。ヒツジの脂肪chilu。どれも少しずつ入れるので、どれが

主材料というわけではない。ダイコンはpotato pilo またはナイフで削るように皮をむく。KTMで買ったナイフを刃を上にして用いる。

かまどや調理器具の図あり。

レバーはfried。腸には地、塩、ニンニク、chiliを入れてソーセージにする。これをボイルして食べる。チベットから伝わった。

Yakを年1回、1戸で1頭殺す。11月にするのは寒いから良い（腐敗しにくいということか）。各家庭で作る。

1 頭、2200Rs. 旅行者は3000Rs. 正月にmomo（ギョウザ）をつくる。

ダイコン長さ20cm、太さ18cm、カブのような形、図あり。

shakpaの味: 1 塩分が多くからい。 2 ダイコンはよく煮えているが、ジャガイモは固め。 3 トウガラシ辛さは少ないが、サンショ類 erman

の味は強く、舌先がしびれるような刺激がある。4 米はかなり溶けてかろうじて粒を保っている。5 sheepの干し肉は硬いが、よくかむと

良い味がする。Smorked meatのようである。

83-10-25	Phakjung	調理法の調査
83-10-26	Phakjung	Senneセン (ヌ) = dido: Sherpa語 3人分の材料。 (lpharpal fl. または kodo fl.). 今回は 2 gaun fl. 2カップ 500g。 3 塩 1.5スプーン。 4 チーズ。5 ニンニク 1切れ。6 トウガラシ1個。 月に4回、朝か昼食に食べる。道具の図あり。オオムギだけでもよいが、シコクビエやソバは混合して用いる。 ちぎって、丸めて、親指で窪みを作り、このスープを入れて、食べる。出来上がりは茶色になる。 chanのスターター: yeastはpharpa r のものをジョサレで作っている。Jau のものは甘酸っぱくておいしくない。材料8kgに2個入れる。 図あり。
83-10-27	to Lukla	
83-10-28		飛行機待ち: 雨が降ってきた。明日のフライトはどうだろう。ヨーロッパ人とインド人がまだ騒々しくしている。キャンセル待ちで14番だ。 3フライトあればokかもしれないそう。しかし、Nepalのこと乗って降りるまでわからない。ヨーロッパ人は慎重深く寝よう。 インド人は切りなく騒ぐ。雨が降り、明日はノーフライトとなれば、いつ帰れるかわからない。もう帰る事しか考えない。もう今いる意味がないからだ。
83-10-29	Lukla	
83-10-30	整理作業:	
83-10-31	Kathmandu, Nepal	DrFKY帰国
83-11-1	近郊の採集、調査	KTM bazar の調査 果物: 1 ミカンはとて多い、2-4品種。2 レモンはある、2-3品種。3 ブンタン有、1品種。4 カキ少ない、2品種。5 クルミは多い。 6 サトウキビ少ない。7 ピーナッツは多い。8 リンゴは多い、3品種。9 バナナはとて多い。10 ココナッツは少ない、2品種。 11 ザクロあり。12 ナシは少ない。13 スグリは少ない。14 ナツメ類赤は少ない。15 ドングリは多い。16 yellowのグアバは少なくなった。

17 ナツメ緑は有る。18 パパイヤは少ない。+++特に多い。++多い。+有る。少ない。

野菜: 1 ダイコンは特に多い、赤白2品種。2 カリフラワーは少ない。3 八頭は少ない。4 ナスは少ない、2品種。5 ピクルスキュウリ

はある、2品種。6 エンドウはある。7 サトイモは多い、2-3品種。8 カブは有る。9 カラシナ類は多い。10 *Cardamine*は有る。

11 ワラビは有る。12 ワケギは多い、2品種。13 Brassica類でセリに似たものは少ない。14 インゲンは少ない。15 ハヤトウリは多い、2品種。

16 サツマイモは少ない。17 カボチャはある、3品種。18 トウガラシは有る、3品種。19 ニンニクはある。20 ショウガは多い。

21 ジャガイモは多い、3品種、白、赤、メークインtype。22 細い葉のセリ類は少ない、写真あり。23 ホーレンソウは少ない。

24 トマト中型5cm、赤・緑、は有る。25 トウガン類は少ない。26 キャベツは少ない。27 ニンジン少ない。28 タマネギ少ない、芽が出ている。

29 マメはエンドウに似た大型のもの、8cm、少ない。30 スパイス用木本（若いコショウかも）ナスは少なくなつた。

31 ニラは少ない。32 ナガイモ、1軒のみ、30cm。33 ヘチマは少ない。34 ソラマメ類のseedling 10-15cm, 野菜は少ない。

雑録: binayoの奏仕方、図あり、口の動きで音を作る。主に若い女性のもの。Mattungaは鉄製で指ではじいて鳴らす。

*Raiのbinayoはアイヌのムックリとまったくくらい同じものだ。この共通性をどう考えるのか。多元的な発生なのか、伝播したのか。

干した魚も一緒に売っている。riceは女性がtransplantする。

83-11-3

83-11-4

植物防疫: Mrs. Krishna Shrestha, Khumal Tar, Div. Plant Pathology 日本に7ヶ月いた。お好み焼きをrotiの様と言っていた。

竹製の野冊をほめていた。

準備: dry specimen は ok。Seed samples はナフタリンを入れておけばok。listは5copies. 証明書発行。

83-11-5

雑草植生概説:

①KTM, 1300m alt .②Biratnagar 水田 180m。 ③ Hile (Dankuta) 畑＋水田。 ④ Phakding (Lukla) 畑、2600m

⑤ Kumjung (Namche) 畑、 3700m ⑥ India, Delhi近郊、 水田(畑) 150m

(I) ②⑥は水田にイネ科が多く、インド区系の植物中心で、日華区系の植物はまれにしかない。①には日本と共通の種・属が多く、

イネ科よりも双子葉雑草が優占する。 田畑があるので、植生は豊かである。

③までは①と共通種が侵入しているが、④⑤にはなく、畑作のみであるし、標高もあるので、雑草の種類は少ない。

a畑地、b庭地、c登山道路傍というようにhabitatを区別できるが、むしろcに種類が多い。

(II) 帰化雑草はアゲラタムが最も目に付き、①に最も多く、③にも有り、④にはほぼない。*Soridago*は①の3ヶ所で見たのみ。

アメリカセンダングサも多い。

(III) 雑草： ウシ、ヤギ、ヒツジなどが多く飼われ、放し飼いされている。これらは路傍の草はもちろん、水田のイネや

八百屋の野菜まで食べる。雑草の側の適応戦略は特徴的なものとして、トゲと毒がある。

(a) **トゲ植物**： オジギソウ②、オナモミ、不明の紫花木本、ママコノシリヌグイ、チョウセンアサガオ、イラクサ、アオビユsp.、

ナス科yellow fruit。 路傍の植生調査した種。

(b) **毒**： チョウセンアサガオ、ナス科yellow fruit。ハッカ、マメ科(②、⑥) さらに1種以上、灌木in Biratnagar

生活史からいって、seedlingの時から、トゲを持っていないと食べられてしまうので、どの段階からトゲへとdry matterを与えるかが問題となる。

トゲ、葉に乾物を与えながら、再生産をどのように確保するかが戦略の中心となる。また、fruitに毒をもつこと、fruitの位置がトゲの根本

にあれば、葉は食されても、実は食べられないこと、なども重要な戦術といえる。

(IV) 水田中に比較的雑草が少ない。除草は1－2回しかしらない割りに少ないのは、施肥料が少ないせい。発生期がdry season

だったのか、要因は良くわからない。

タイヌビエは非常に良く目に付く。高所の畑地雑草の種数は少ない。

Kathmandu市内の雑草： 1 ハキダメギクは路傍や庭でよく見る。2 アゲラタム（白・紫）は庭や路傍。3 スベリヒユも同左。

4 *Mazus japonicus* 手入れされた庭。5 *Rorippa dubia* 市内の路傍。6 *Oxalis* sp. (pink fl.) 庭。7 *Oxalis* (yellow fl.) 路傍。

8 センダングサsp. 荒れた庭地。9 スズメノカタビラsp. 庭地。10 アワゴケsp. hotelの庭。11 *Cardamine flexuosa* hotelの庭。

12 オナモミsp. 畑の縁。13 アオビユsp. 14 タイヌビエ sp. 水田中。15 ウリクサsp. 庭。16 オヒシバ 路傍。17 メヒシバ 庭や道。

18 マルバツユクサsp. 道。19 アゼトウガラシ類 白花、hotel Yak&Yety。20 アゼムシロ白花。21 ゴマノハグサsp. 黄色花。

22 チカラシバsp. 小型。23 チジミザサ sp. 24 ゴマノハグサ科sp. 黄色花、路傍。

Imadol地区の雑草： 1 ミチバタガラシ。2 カヤツリsp. 3種。3 ホシクサsp.。4 コニシキソウsp. 5 マメ科。6 ピンクの花（42, 22）

7 ウリクサsp. 8 アゼトウガラシsp. 9 イヌホウズキ。10 ミゾホウズキsp. 11 アゼムシロ。12 コナギ。13 アゲラタムが畦や道に

多く分布している理由は不明。14 ハッカは路傍に多い。精油成分があるが、少しヤギが食べていた。15 チョウセンアサガオはトゲと毒がある。

16 イラクサsp. トゲに毒。17 ナス科sp. 実に毒。14-17が多いのはとげと毒がウシやヤギの食害を防ぐからと思われる。

18 *Cardamine* sp. 19 アザミsp. トゲ有り。20 不明、白花で百日紅に似る。21 不明、白花でクリサンセマムに似る。22 スカシタゴボウ。

23 *Veronica* sp. 畦。

83-11-6 税関、医薬品引きわたし

83-11-7

83-11-8 整理

83-11-9 Kathmandu to BKK

83-11-10 Bangkok, Thailand

83-11-11 BKK-NRT